

# 日時

2020年3月25日（水）

14:00-16:30

# 参加方法

本シンポジウムはビデオコミュニケーションツール「zoom」を使ったオンラインイベントです（参加者側の映像が主催者側に映ることはありません）。右のQRコードからご登録いただいた方に、招待リンクをお送りします。



## オンラインシンポジウム

# AIと差別

AIが社会のさまざまな側面に大きな影響を与えつつある現在、私たちはAIによる差別にどのように向き合うべきでしょうか？ 量刑・人事・融資等、人生の重要な局面でAIを用いた判断がなされつつある中、学習したデータにバイアスがあればAIが差別的な判断をしてしまうおそれがあります。「AIによる差別をどう防ぐのか？」これは新しい問題に見えて実は古くから現在に至るまで続く問題でもあります。レイシャル・プロファイリングや統計的差別等、人が何かを判断する場合、必ずそこにはバイアスが存在します。また、ボットによって拡散されたバイアスのある情報には、差別や不寛容を促すメッセージが含まれています。本シンポジウムでは、AIにかかわる法的問題に詳しい情報法がご専門の成原慧さんを迎え、AI時代に人間は差別にどう向き合うかを考えます。

## 基調講演

成原慧（九州大学准教授、情報法）

インターネット上の表現の自由やプライバシー・個人情報に関する法的問題のほか、最近では人工知能（AI）・ロボットに関する法的問題の研究にも取り組む。おもな著書に『表現の自由とアーキテクチャ』（勁草書房、2016年）、『AIが繋げる社会——AIネットワーク時代の法・政策』（共編、弘文堂、2017年）、『人工知能と人間・社会』（共編、勁草書房、2020年）ほか。

## コメンテーター

堀田義太郎（東京理科大学講師、哲学・倫理学）

明戸隆浩（東京大学特任助教、社会学）

## コーディネイター

宮下萌（IMADR、弁護士）

## 主催

反差別国際運動（IMADR）